

平成22年10月 全国百貨店売上高概況

平成22年11月24日

I. 概況

1. 売上高総額	5,121億円余
2. 前年同月比	0.6% (店舗数調整後/32か月ぶりプラス)
3. 調査対象百貨店	91社 261店 (平成22年9月対比-1社+1店)
4. 総店舗面積	6,465,711㎡ (前年同月比:-1.9%)
5. 総従業員数	93,481人 (前年同月比:-5.9%)
6. 3か月移動平均値	3-5月 -3.1%、4-6月 -4.0%、5-7月 -3.1%、 6-8月 -3.5%、7-9月 -3.1%、8-10月 -2.5%

[参考] 平成21年10月の売上高増減率は-10.5% (店舗数調整後)

【10月売上の特徴】

32か月ぶり(08年2月/+0.9%以来)に前年同月比プラスとなった。

10月は、円高・株安など景気や個人消費への懸念材料もあったが、記録的な残暑がようやく落ち着いて秋物商材が活発に動いたことや、下旬からの冷え込みでコート等の冬物重衣料にも伸びが見られ、主力の衣料品が前年を上回った(40か月ぶり)ほか、東京や名古屋を中心に大都市部の業績回復(10都市+1.1%)が押し上げ効果を発揮したこと、また、プロ野球優勝セールをはじめ各種催事の積極展開が集客に寄与したことなどが重なり、最終的には2年8か月ぶりに前年実績を上回る結果となった。3か月移動平均値(基調傾向)も減少幅を改善している。

具体的な動向としては、月末の台風14号接近による集客への影響などマイナス要素がある一方、複数の店舗で増床や改装の効果が出ていること、日曜日が前年に比べ一日増加していること、最近の家庭回帰志向を背景に家庭用品が好調を維持していること、などのプラス要素が報告されている。なお、10月実施の全国百貨店共同催事「百貨店を遊ぼう！」(買上条件付の景品企画)には約35万人(昨年約28万人)の応募があった。

【要因】

- (1) 天候：気象庁発表「10月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)
 - ◇ 上・中旬は寒気の影響がほとんどなく全国的に気温は平年を上回る日が多かった。下旬以降は一時的に冬型の気圧配置で気温が下がり北日本では降雪も観測した。また月末には台風14号が接近し太平洋側で大雨となった。
- (2) 営業日数増減 30.9日(前年同月比+0.1日)
- (3) 土・日・祝日の合計 11日(〃 日曜1日増)
- (4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)
 - ①増加した：73店、②変化なし：26店、③減少した：33店、④不明：45店
- (5) 10月歳時記(体育の日、旅行シーズ)の売上(同上)
 - ①増加した：21店、②変化なし：64店、③減少した：17店、④不明：75店
- (6) 翌月売上見通し(回答店舗数で見る傾向)
 - ①増加する：24店、②変化なし：78店、③減少する：24店、④不明：51店

全国百貨店 売上高速報 2010年10月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	512,129,013	100.0	0.6 (-0.3)
10都市	329,324,697	64.3	1.1 (0.7)
札幌	12,807,637	2.5	-0.1
仙台	6,601,848	1.3	-0.2
東京	128,903,373	25.2	2.7
横浜	28,826,603	5.6	1.5
名古屋	30,860,786	6.0	2.9 (0.2)
京都	20,140,552	3.9	0.5 (-1.2)
大阪	61,670,477	12.0	-1.1
神戸	13,814,575	2.7	-1.0
広島	11,905,695	2.3	-0.3
福岡	13,793,151	2.7	-2.9
10都市以外の地区	182,804,316	35.7	-0.3 (-2.0)
北海道	3,098,632	0.6	0.7 (-8.7)
東北	10,479,680	2.0	-0.3
関東	86,492,202	16.9	-0.2 (-2.9)
中部	14,450,723	2.8	-1.2 (-3.7)
近畿	17,515,020	3.4	3.3
中国	12,848,974	2.5	-2.9
四国	9,428,801	1.8	-3.4
九州	28,490,284	5.6	-0.3

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	512,129,013	100.0	0.6 (-0.3)
紳士服・洋品	40,358,516	7.9	1.6 (0.8)
婦人服・洋品	129,353,282	25.3	0.2 (-1.0)
子供服・洋品	13,062,700	2.6	4.6 (4.0)
その他衣料品	14,703,502	2.9	-5.7 (-7.0)
衣 料 品	197,478,000	38.6	0.3 (-0.8)
身のまわり品	63,159,776	12.3	1.7 (0.9)
化粧品	26,338,651	5.1	-1.2 (-1.7)
美術・宝飾・貴金属	22,637,387	4.4	-2.3 (-2.9)
その他雑貨	20,603,964	4.0	-3.5 (-3.7)
雑 貨	69,580,002	13.6	-2.3 (-2.7)
家 具	6,764,523	1.3	-0.3 (-0.8)
家 電	1,869,633	0.4	-5.9 (-6.1)
その他家庭用品	17,325,683	3.4	3.5 (2.9)
家 庭 用 品	25,959,839	5.1	1.7 (1.2)
生 鮮 食 品	28,450,840	5.6	0.2 (-0.5)
菓 子	29,456,978	5.8	0.6 (-0.2)
惣 菜	29,665,172	5.8	0.4 (-0.1)
その他食料品	37,548,828	7.3	-1.3 (-2.4)
食 料 品	125,121,818	24.4	-0.1 (-0.9)
食 堂 喫 茶	14,092,277	2.8	2.4 (1.7)
サ ー ビ ス	5,861,407	1.1	1.0 (0.3)
そ の 他	10,875,894	2.1	25.1 (24.7)
商 品 券	16,424,724	3.2	10.5 (9.7)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | 1.1% (店舗数調整後／32か月ぶりプラス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -0.3% (" / 40か月連続マイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	1.1	0.7	32か月ぶりプラス
札幌	-0.1	0.0	8か月連続マイナス
仙台	-0.2	0.0	30か月連続マイナス
東京	2.7	0.7	32か月ぶりプラス
横浜	1.5	0.1	5か月ぶりプラス
名古屋	2.9	0.2	2か月ぶりプラス
京都	0.5	0.0	5か月ぶりプラス
大阪	-1.1	-0.1	3か月連続マイナス
神戸	-1.0	0.0	3か月連続マイナス
広島	-0.3	0.0	32か月連続マイナス
福岡	-2.9	-0.1	27か月連続マイナス
10都市以外の地区	-0.3	-0.1	40か月連続マイナス
北海道	0.7	0.0	3か月ぶりプラス*
東北	-0.3	0.0	31か月連続マイナス*
関東	-0.2	0.0	40か月連続マイナス
中部	-1.2	0.0	31か月連続マイナス
近畿	3.3	0.1	31か月ぶりプラス
中国	-2.9	-0.1	29か月連続マイナス*
四国	-3.4	-0.1	40か月連続マイナス
九州	-0.3	0.0	38か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行したため(2005年までは6大都市)、連続性の観点から2007年1月からのトレンドとした。

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目では、衣料品が40か月ぶり、身のまわり品が38か月ぶり、家庭用品が7か月ぶりのプラス。マイナスは雑貨と、食料品が-0.1%の微減となった。また、紳士服・洋品、婦人服・洋品、子供服・洋品、その他家庭用品、生鮮食品、菓子、惣菜がプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	0.6	—	32か月ぶりプラス
紳士服・洋品	1.6	0.1	31か月ぶりプラス
婦人服・洋品	0.2	0.0	40か月ぶりプラス
子供服・洋品	4.6	0.1	26か月ぶりプラス
その他衣料品	-5.7	-0.2	32か月連続マイナス
衣料品	0.3	0.1	40か月ぶりプラス
身のまわり品	1.7	0.2	38か月ぶりプラス
化粧品	-1.2	-0.1	23か月連続マイナス*
美術・宝飾・貴金属	-2.3	-0.1	44か月連続マイナス*
その他雑貨	-3.5	-0.1	35か月連続マイナス*
雑貨	-2.3	-0.3	32か月連続マイナス
家具	-0.3	0.0	35か月連続マイナス
家電	-5.9	0.0	4か月連続マイナス
その他家庭用品	3.5	0.1	2か月ぶりプラス
家庭用品	1.7	0.1	7か月ぶりプラス
生鮮食品	0.2	0.0	3か月ぶりプラス*
菓子	0.6	0.0	3か月ぶりプラス*
惣菜	0.4	0.0	29か月ぶりプラス*
その他食料品	-1.3	-0.1	3か月連続マイナス*
食料品	-0.1	0.0	3か月連続マイナス
食堂喫茶	2.4	0.1	27か月ぶりプラス
サービス	1.0	0.0	3か月連続プラス
その他	25.1	0.4	7か月連続プラス
商品券	10.5	0.3	12か月連続プラス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで

TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>